

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名 前立腺癌患者における血清 25(OH)D の臨床的意義の検討
研究計画 (1)背景・意義 ビタミンDは骨代謝以外にも多様な機能を有しており、癌の悪性度、癌死亡率との関連性が指摘されている。前立腺癌のスクリーニングには PSA が使用されているが、悪性度との関連性は認められていない。ビタミンDと前立腺癌の関連性については、ビタミンDと前立腺癌の発症率に関しては一定の見解はなく、癌の悪性度や予後に関しては人種差があることが報告されているが、日本人での報告はない。 (2) 目的 ビタミンD欠乏と前立腺癌の悪性度、予後について検討する (3) 方法 ①割り付けなし ②保険診療範囲内 当科において病理学的に前立腺癌と診断された患者のうち治療開始前に血清 25(OH)D を測定した症例を対象とし年齢、PSA, Grade Group, TNM 分類、非進行期間について後ろ向きに検討する。
個人情報の取り扱い 本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。
連絡先 東京警察病院泌尿器科外来